

## 2024年度 自己評価結果

社会福祉法人孝愛会 那加保育園

### 1. 那加保育園の保育

#### ◎保育理念

児童福祉法の精神に基づき、『子ども達の最善の利益』を保証するために保護者や地域との連携を基に、子どもの人権と主体性を尊重し、生き生きとした保育者の豊かな人間性の陶冶と専門的な知識の向上に努め子育て支援を積極的に行う。

#### ◎保育目標

- ・保育目標： すこやか、ほがらか、おもいやり
- ・養護の目標： 生命の保持と情緒の安定を図る
- ・教育の目標： 友だちと仲よく意欲的に遊べる子、学べる子

#### ◎保育方針

子どもの持続的で健全な心身の発達を図るために保育関係者自身の豊かな人間性の陶冶と絶え間ない資質の向上を基に保護者や地域及び関係機関と協調しながら主体性を持って計画的、継続的、意図的に保育を展開する。

### 2. 本年度の重点事業の取組結果

#### ① 保育の質の向上

各務原市が実施する保育士研修会における全体研修、保育士等キャリアアップ研修の受講、公開保育の実施・参観を通じて、保育者の保育の質の向上を図りました。公開保育等の園内研修では保育者が自身の保育実践を語るとともに、他者の保育実践に参観する中で、自身の保育を振り返り改善につなげる機会となる研修として、保育の質の向上を目指しました。

また、「自主性を育む保育」の実践を目指して、廃材遊びを題材として外部講師に保育を参観してもらい、職員とのディスカッションの中で子ども達の自主性を育み、自分の思いを形にして表現できるようにするにはどのように保育すべきか指導頂いた。外部講師に指導頂いた事を日常の保育に取り入れて実践を図ることで、園全体の保育の質の向上を図りました。

#### ② 運動遊びを通した子どもの動きの多様化、思いやりの心の育成を目指した保育の推進

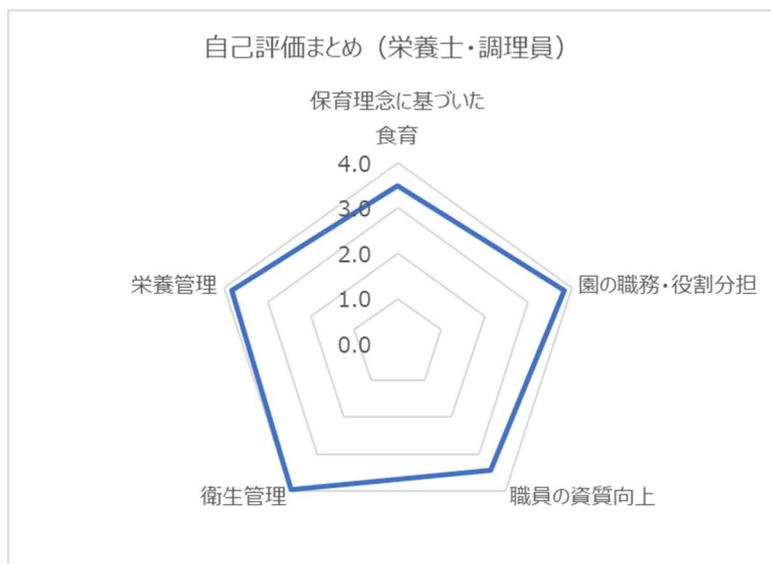
本年度「運動遊びを通して動きの多様化と思いやりの心の育成をもとめて」を研究主題として研究に取り組みました。取組を開始して本年度で4年目を迎えましたが、過去3年間は、多様な動きのある運動を経験することや、集団遊びの中でのルールを守り、社会性が身につけられるように取組みました。本年度は、多様な動きができるように器具を用いた運動遊びに取組むとともに、思いやりの心が育めるように、異年齢にて集団で行う運動遊びに取組みました。その結果、年上の子は年下の子を思いやり、手助けをして運動遊びをし、年下の子は年上の子に憧れを持って新しい運動遊びに挑戦するようになり、運動機能の向上だけでなく、思いやりや憧れといった心を育むことができました。

#### ③ 子どもが安全に生活できる環境の整備

本年度は、子どもが安全に生活できる環境の整備を進めるために、東西の出入口に自動施錠機能を持つ電子錠付の門扉を整備しました。これにより、外部の不審者が勝手に園内に侵入することを防ぐことができるとともに、園児が勝手に園庭外へ出て行ってしまうリスクも最小化することができました。

### 3. 評価項目の達成状況

2024年度末に職員（保育士・栄養士・調理員）に自己評価を実施して、その結果をグラフにまとめました。その結果をもとに、園運営や保育活動の総括と来年度以降の改善に向けての課題をまとめました。



#### ● 本年度総括と来年度以降の課題

##### ① 保育の内容

職員間で連携、役割分担をして、子どもを主体とした保育、子どもの最善の利益を考慮した保育観を持って保育ができました。また、必要な衛生管理、栄養管理の下で、給食の提供ができました。

一方で、子どもの就学を意識して現在の育ちを評価して適切な指導や対応をしていくことや保育理念に基づいた食育の機会の設定していくことが来年度以降の課題として抽出されました。

##### ② 保護者への対応

保護者と積極的にコミュニケーションをとって子どもの園での様子をつたえることで安心と信頼を得て、保護者と連携して保育をすることを心掛けることができました。

一方で、個々の子どもの特性をとらえて、保護者の子育てについての相談にのることで子育て支援や保護者支援を行い、課題解決を図っていくことが来年度以降の課題として抽出されました。